

中之島4丁目用地の活用に係るマーケット・リサーチ結果

【概要】

大阪市では、中之島4丁目において、2020年度の開館を目標とした新美術館の整備を予定しており、この整備予定地と隣接する用地(以下、「本用地」という。)について、当該美術館計画とあわせて、地区の魅力向上や市施策への貢献を目的とした有効な活用方法(売却手法)の検討を行っている。

そこで、本用地の開発事業者の公募に先立ち、公募時の条件の整理に役立てる目的に、市が実現を期待する施設・機能等(大学等高等教育関連施設、業務・商業・宿泊・文化施設等)に関して、市場の動向や民間の意向等を把握するため、マーケット・リサーチを実施した。

【期間】

平成26年9月26日(金曜日)から平成27年2月3日(火曜日)

【ヒアリング(対話)の概要】

2大学から調査票の提出があり、調査票に基づき以下の項目についてヒアリング(対話)を実施した。

項目	ヒアリング(対話)内容
①想定する施設の概要	<ul style="list-style-type: none">・ いずれも大学・大学院を含むキャンパス型大学の設置を想定している。
②新美術館や周辺既存施設との施設面・機能面の連携	<ul style="list-style-type: none">・ 広場や歩行者ネットワーク(中央緑道等)等の整備を想定している。・ 新美術館と連携可能な施設や、一般開放されたイベント用施設・レストラン等の整備を想定している。
③新美術館や周辺既存施設と連携したソフト面の取組み	<ul style="list-style-type: none">・ 学生による来館者サービスの実施を想定している。・ 美術館と連携したイベントや、市民参加型企画の開催等を想定している。